

キャラクター名  
The Tempest(名前考え中)

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ブラックドッグ		ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	
	オルクス			年齢	???	性別
オプション	覚醒	生誕	衝動	破壊	初期侵食率	37 %
	出自		経験		邂逅	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	29
肉体	3	0	0			3	行動値	7
感覚	2	0	0			2	(非装備時)	7
精神	2	1	0			3	戦闘移動	12
社会	1	0	0			1	全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	3		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転:			芸術:			知識:			情報: UGN	2	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
厄災顕現(カマティ・マニフィケーション)		0				オリジI。真の姿へと変化する
3dx+19 雨の籠(テニグ・ダウグアア)	RC	3r+19		4		雨粒
3dx+19 踊る雷雲(ワカ・ド・ゴ・ラド)	RC	3r+19		10		雨粒+雷
3dx+19 大嵐(カベ・ジ・テパスト)	RC	3r+19		22		雨粒+雷+サイレン

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
RCブースター	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
怪人(スパーキーカインド)	P	N		
都築京香	P 有為	N 不信感		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2 残り財産P:

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
ヒューマンズネイバー	1	-	常時	至近	自身	自動	RB	
効果:	衝動判定が15+LV個。基本侵食+5							
オリジン:レジェンド	4	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果:	シソ中、【精神】判定の達成値を+[LVx2]							
エアウォーカー	1	1	セットアップ	至近	自身	自動	RB	
効果:	シソ中飛行状態。移動+[LVx2]m							
サイレンの魔女	4	5	メジャー	視界	シソ(選択)	対決	Dロイス	
効果:	攻+[LVx3]。シソ不可。装甲無視							
雨粒の矢	2	3	メジャー	視界	シソ(選択)	対決	-	
効果:	攻+[LVx2]。シソ不可							
雷の槍	1	2	メジャー	視界	-	対決	-	
効果:	攻+[LVx2+4]。ダメージ1個。同シソ不可							
ハードワイヤード	4	-	常時	至近	自身	自動	-	
効果:	BD専用アイテムLV個取得。侵蝕+4							
透明存在	★							
効果:								
電波障害	★							
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								
効果:								

最近近隣の街で噂されている雨の日に現れる紳士。  
その正体は、とある計画によって生み出されたレネゲイドビーイング。司る属性は"嵐"。  
自然的厄災である嵐を操る"権能"を持つ。  
その力を使って、人類に嵐への畏怖を思い出させようと事件を起こすが討伐される。  
それ以降、人類の隣人として密かに街に住み着いている。  
討伐された折、権能の大部分が失われてしまったため、ジェネレーターによって能力を補強している。  
本来の姿は人型の竜巻といった感じだが、基本的には妙齢の紳士に擬態して現れる。

太古より人々は自然への畏怖の念を持ち続けていた。  
その中で最も恐れられていたものこそ"嵐"である。  
人々が長い年月をかけて築き上げたものを、一撫でで消し去る嵐。  
それに人々は恐怖し、その力に畏敬の念をもって供物を捧げてきた。  
しかし技術の進歩と共にそれは失われ、人は嵐を克服した。  
かつて厄災や恵みをもたらす現象として存在していた"嵐"はその力を失った。力を失うということは現象でもなくなるということである。  
力を失った嵐は現象という"かたち"を維持することができない。故に1個体として現界した。  
それがこの男の正体である。  
山本孝:著『領域』